



右上のQRコードからあなたの**推し**
の作品に投票してください。

check



のれんのゆれる
秋の中山道を楽しんで！

第16回 中山道のれんコンテスト開催

【コンテスト期間】11月6日(木)～11月18日(火)

【コンテスト会場】大井宿本陣跡から長島町中野長島橋まで

こども園・小中高校生・留学生
シニアの方から約150点の作品
が集まりました。

作品テーマ：-花-



【みさとこども園】



【夏休み市民講座でのれん作り】



【名商大留学生のれん制作】



【中野方こども園】



【後援】恵那市・恵那市教育委員会・恵那市観光協会・恵那市商店街振興組合
社会福祉協議会大井支部・大井地域自治区・長島地域自治区・恵那市国際交流協会

11/23

(日・祝)

農高祭開催

恵那農業高校

彩マーケットも同時開催！

9時～12時

・木工体験等
各種体験

販売ブースでお買い物

- ・ジャム
- ・ケチャップ
- ・味噌・醤油
- ・サブレ、パン等

大人気の
五平餅
販売

- ・秋冬野菜
- ・シクラメン
- ・シンビジューム
- ・葉牡丹
- ・パンジー等



恵那峡の花壇も農高の生徒の手できれいになりました。

九月二十一日(日)三区が、気象予報士・防災士の古山享嗣さんを講師に、「三区における想定外の気象災害研修会」を行いました。

三区の範囲と地形・地質から分析した災害を、データや写真を見ながら、講師が細かく説明しました。

「命を守る」ためにできると、自分たちの住む地域の危険地域を知っておくことの大切さを参加者は実感しました。

大井町三区気象災害研修会



9月13日(土) 地域自治区、自治連の有志が阿木川沿いの草刈り作業を行いました。

阿木川草刈り作業



9月18日(木) 大井町自治会館で、大井太鼓振興会と城ヶ丘こども園児27名・保護者が参加して、総勢60名で交流をしました。

園児と太鼓で交流



フルーツで生活に彩りを

りんごハウス

こだわりのフルーツ・季節のフルーツ・野菜を、新鮮・ボリューム、納得の値段で販売！

(有) グリーन्ズ木曽 TEL: 0573-59-4350
恵那市大井町観音寺 2695-855

中・高生の制服

恵那・恵南・中津川地域

フデシマヤ

0573(25)3158

体育衣料・学校指定用品も！

かわらばん応援店
随時募集中



体育大会 & 運動会

きらり かがやく 勇姿

恵那東中学校

東中スローガン

「進化し続ける東中」

仲間とともに勝利をめざして掲げた目標に向かい、汗を流し、声をからし、最後まで全力で挑み続けました。そのひたむきな姿が、最高の感動を生んだ体育大会となりました。



大井小学校

大井小スローガン

「一心同体 ～団結して全力で取り組む運動会～」

天気が心配されましたが、雨が降ることなく、どの子も演技競技、応援に精一杯取り組むことができました。競技は赤団が優勝、応援は赤団・白団の両団優勝で幕を閉じました。



大井第二小学校

第二小スローガン「光り輝け 協力 笑顔 全力」

赤団、白団の団長の決意表明のもと、みんながんばった運動会

第二小で一番の運動会にします。
赤団のみんなで全力を出しきります。

赤団 団長 馬場 拓摩

練習の中で成功や失敗が
たくさんあったけれど、運動会に向けて頑張ります。

白団 団長 鶴澤 怜央



みのじのみのり祭大盛況 9/27・28日

【大井太鼓振興会の神輿】



【大井町のブース】



神輿が復活！

夜の活気が戻ってきました。
地域のこども獅子なども戻って、
みのじのみのり祭りは大盛況！
天気にも恵まれ、実りの秋満喫！



岡山瀬沢の北のはずれで、濁川に沿って水田が開けており、濁川の downstream ということから地名となったと思われます。
濁川の上流は崩れやすい土壌であるため、大雨が降ると川に入り、水が濁ったことから濁川と名付けられたということは地元の方は周知のことですが、この土砂から質のよい砂がとれることからセメントにも使われたそうです。仏師福岡日精もこの砂を使って恵那峡の仏像を造ったとされます。
下岡瀬沢は、濁川が大きく影響した地区でもあります。
(中山道かたりべの会 西尾 重人)

下岡瀬沢 —しもおかせざわ—

◆大井町の地名の由来

Vol.52



【日 時】11月15日(土) 9時~12時
【集合場所】恵那市役所正面玄関
【講 師】中山道かたりべの会
【定 員】20名(先着順) ※受講料無料
【持ち物】飲み物、散策しやすい服装、雨具
【申込み】11月14日(金)までに下記へ
連絡願います。恵那市教育委員会文化課
電話：0573-26-2153
FAX：0573-26-2189

第三回 かたりべ養成講座開催
—福岡日精が建てたコンクリート像を巡る—

かわらばんこぼれ話

西向く士(にしむくさむらい)は、暦において日数が31日ない月を覚える言葉ですが、この言葉の「にしむく」は2月・4月・6月・9月で「さむらい」は、十と一を組み合わせた十一月を「士」としてこう呼びました。この言葉は江戸時代の天保8(1837)年頃に誕生したと言われます。

さて、日が短くなる11月は哀愁を感じる時季ですが、夜の列車の赤いランプを眺めると、いっそうもの寂しく感じ

ます。列車が闇に吸い込まれるように土々根トンネルの中に入っていきます。

翌朝には明るい始発列車が通り抜け、さあ一日のはじまりです。

-M・H-



地 区	10月1日現在	前月比	前 年 同月比
大井町人口	12,286 人	-14	-221
世帯数	5,552 世帯	+4	-25
高齢化率	30.57%	+0.05	+0.49
市 人口	45,514 人	-33	-714
世帯数	20,006 世帯	+13	-10
高齢化率	36.63%	+0.05	+0.41

※高齢化率は人口に占める 65 歳以上の比率